

# 加西ふるさと春ミーティング 2016 質問等一覧

市内10小学校区で開催しましたタウンミーティングでは、「計画と戦略、何が未来を創るのか」と題し、自治会運営を担われているみなさまを中心に参加していただきました。会場でお聴きした提案や意見をお知らせします。

今後の市政に可能な限り反映させてまいります。

校区名	開催日時・場所	参加者数
下里 小学校区	4月17日(日) 19:30 ~ 21:00 善防公民館	28名
タウンミーティングでのご意見		
No	意見概要	回答など
1	第5次5ヵ年計画について、前5年の反省はどうなっているのか。 目標に対する達成度は。達成できていない原因は何か。	今回の計画は前期終了に伴う中間見直しとなり、前期基本計画に掲げられた全153事業のうち、数値による検証困難な事業を除く、148事業のうち、達成度0%が「なし」、達成度25%が2事業、達成度50%が79件、達成度75%が66件、達成度100%が1件という中間結果となり、計画は順調に進んでいると考えています。 詳細については、市のホームページや図書館でも閲覧できます。
2	自分の田んぼも宅地にすることができない。住宅地の問題は今後どのように考えているのか。	若い世代に向けて、ベルデ下里のような住宅地を他の地域でも作っていきたいと考えています。同時に、地縁者住宅を進めていきたいと考えており、同時に市街化区域と調整区域の設定がされた昭和46年以前の住宅の積極的な活用を推進することで、住民の方々には、集落の中で、交換や売買を進めてもらいたいと考えています。 また、空家バンクも有効利用してほしいです。  (担当より) 加西市では、市街化調整区域の全107地区において特別指定区域制度における「地

## 加西ふるさと春ミーティング 2016 質問等一覧

		<p>縁者の住宅区域」を指定しています。</p> <p>Uターン等で市内に住宅を建築される場合には、当制度を活用していただきたいと考えています。</p> <p>一方、現在、尾崎町北条高校前地区において、民間活力を導入し、ベルデしもさと第2弾となる住宅分譲地整備の検討を進めています。</p> <p>人口が減少し、まちづくりに支障が出ているため地縁の無い方も移住できるようにしたい、ベルデしもさのような若者世帯が居住する住宅団地をわが町につくりたい等、地域のご協力が得られ、かつ、立地条件を整えば、市街化調整区域の規制緩和を行い、民間活力の導入も含めた新たな住宅地整備をすすめていきたいと考えています。</p>
3	<p>新産業団地の中に住宅地を建設し、人を呼び込むことはどうか。地域の特性を考えながら計画を考えてもらいたい。</p>	<p>ベルデ下里は市南部に位置し、近隣都市への交通の利便性が高く、市外で仕事を持つ人が多い。</p> <p>利便性の高い住宅地の開発を進めていきます。</p>
4	<p>動きが鈍かったが、西村市長就任以来、動きが早く、活性化していると思う。</p> <p>引き続き、市民目線の行政運営をしてほしい。また、町内のインフラ整備を検討してほしい。</p>	<p>組織力が大切であると考えています。今後も地域の課題について、迅速に対応していきたいと考えます。</p> <p>また、地域の課題については、道路問題は特に重要と考えていますので、順次整備を進めていきます。</p>
5	<p>昨年、代表区長として道路拡幅工事の要望書を提出しているが、いい返事がなく、フォローがありません。</p>	<p>(担当より)</p> <p>市道大村笠原線道路拡幅工事について、今年度から整備の予定です。現在、測量と設計中です。計画図面作成後、区長様と協議を行います。</p>
6	<p>西村市長になってから、地域担当職員制度ができ、地元への調整が早くなった。</p>	<p>地域担当職員については、各地区3名以上が配置されています。地域の課題について、状況が把握しやすく、迅速で丁寧な対応ができる制度と考えていますので、引き続き推進してまいります。</p>